

福島県三島町
広報

平成 28 年 12 月 2 日発行
(毎月第 1 金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

みしま

2016

December

12

No.285

主 な 内 容

第 28 回ふくしま駅伝	2
文化の日特集	3
Town Memories	4
浅岐集会所完成!	6
町民記者	7
地域おこし協力隊特集	9
図書コーナー	10
昔話(観音様の御利益)	10
町史編さん室だより	11
Information	13
福島県きのか品評会受賞	14



the most beautiful
villages
in japan

福島県大沼郡三島町 広報みしま

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

三島の文化を学び・守り・伝える



【平成28年度三島町文化祭】
三島町文化祭は11月3日『文化の日』に、町民センターで行われました。
会場には書、絵画、写真、生け花、俳句など町民の作品が多数展示されたほか、町民課による元気でまっせ体操や宮下婦人会による食堂が開催され、役場前ではロケッツストーブ製作や木工体験コーナーもあり、地元の農産物や四倉の方々の海産物、揚げたてコロッケ、会津地鶏のポトフなどが販売されました。

また、除雪ドーザーの乗車体験、地震車による地震体験なども行われ、自然災害の恐ろしさや、その対策・防災について再認識し学ぶ機会となりました。
午後からは語り部サークル「ちゃんちゃんこ」の皆さんによる語りも行われ、三島中学生による合唱や一般参加者による演芸会、駒の会による和太鼓演奏が披露されました。訪れた人達は、楽しいひと時を過ごしているようでした。

Full Force ～最高の思い出～
三島中桐陽祭



練習の成果を発揮
三島小まつり



三島中学校による「桐陽祭」が10月29日に三島中体育館で、三島小学校による「三島小まつり」が11月3日に三島小体育館で開催され、児童や生徒たちは、日頃の練習の成果を発揮し、保護者の方や見に来て下さった方たちの笑いや感動を誘いました。
また、三島小まつり終了後に生涯学習表彰式が行われ三島小・中合わせて9名の児童と生徒が受賞しました。

- 【文化部門】
- 小松凌大くん（三島中1年）第46回世界児童画展 特選／第36回FCT児童画展 福島民友新聞社賞●坂内悠吏くん（三島中1年）第46回世界児童画展 特選●星日代里さん（三島中2年）平成27年度第61回読書感想文コンクール 佳作●坂内遥人くん（三島中3年）第60回福島県書きぞめ展書きぞめ奨励賞
 - 【三島町社会を明るくする運動標語コンクール表彰（特選）】
 - 鈴木啓生くん（三島小6年）●五十嵐望くん（三島小5年）●鈴木彩月さん（三島中1年）●坂内悠吏くん（三島中1年）
 - 【交通安全運動標語コンクール表彰（特選）】
 - 二瓶佳悟くん（三島小4年）●小柴大空くん（三島中1年）



第28回ふくしま駅伝は11月20日、白河市から福島市まで中通りを縦断する16区間、95・1kmのコースで開催されました。当町は特別措置による合同チームの一員として参加。小平梨々花さんが郡山北工業高校内から平成記念郡山こどものもり公園入口までの9区（3.0km）、星日代里さんが松陵中学校前から福島大学入口までの15区（3.4km）、北館亮さんが福島大学入口から福島県庁前ゴールまでの16区（8.4km）を走りました。三島、金山、昭和、湯川、檜枝岐、川内、葛尾の7町村の各選手が全力で走り切り、昨年よりも総合タイムを約9分も縮め、53チーム中29位相当の過去最高順位でゴールしました。

①希望ふくしまのメンバー②9区を疾走する小平梨々花さん③接戦のなか激走する15区星日代里さん④16区アンカーを務めゴールした北館亮さん

区間・距離	選手	年齢・学年・所属等	町村	区間記録	区間順位
1区 4.0km	木戸美帆	34歳・石川町社協	葛尾	14'11"	22位
2区 8.2km	三瓶将哉	ふたば未来学園高1年	川内	29'02"	39位
3区 5.8km	柏木純翔	湯川中3年	湯川	19'47"	20位
4区 7.3km	渡邊岳之	29歳・J A会津よつば	湯川	24'33"	26位
5区 6.7km	西山望	小野高3年	川内	24'11"	34位
6区 8.3km	松本英樹	清陵情報高3年	葛尾	29'14"	37位
7区 5.2km	本名萩	昭和中1年	昭和	18'05"	18位
8区 4.1km	大須賀翔	湯川中2年	湯川	14'26"	16位
9区 3.0km	小平梨々花	三島中2年	三島	12'55"	42位
10区 9.3km	中丸凌太	こおりやま東都学園2年	金山	32'34"	40位
11区 3.9km	片桐亜子	24歳・川内村もたらうプール	川内	15'17"	20位
12区 9.3km	鈴木貴人	38歳・ふたば未来学園高教員	湯川	24'37"	32位
13区 4.8km	若松聖也	川内中3年	川内	17'20"	31位
14区 5.7km	穴澤進	43歳・檜枝岐村役場	檜枝岐	21'39"	43位
15区 3.4km	星日代里	三島中2年	三島	14'26"	46位
16区 8.4km	北館亮	37歳・三島町役場	三島	29'15"	37位
全長 95.1km	5° 41' 32"	総合 29 位相当（※ 合同チームのため参考記録）			

第28回ふくしま駅伝
七町村の選手達が繋いだ
『感動』と『希望』
合同チーム「希望ふくしま」総合29位相当（参考記録）
当町から小平梨々花さん（三島中2年・西方）、星日代里さん（三島中2年・西方）、北館亮さん（役場・西方）が出場

町の地域資源を活用し魅力あるまちづくり 三島町生活工芸アカデミーモデル事業開講



11月1日、福島県三島町生活工芸アカデミーモデル事業体験の開講式が行われました。

生活工芸アカデミーは、山村の文化・暮らしの理解の下、編み組細工を柱に、農林業・その他の工芸（木工・陶芸等）を学べる環境を整備し、生業との組み合わせによる山村で自活できるモデルづくりを進め、定住促進につなげることを目的としています。

今回は、平成29年度からの本格開講に向けたモデル事業として4名の方が受講生となり、同じ屋根の下、編み組細工製作や原材料採取及び栽培、工人さん巡り、座学、郷土料理体験など三島町の生活工芸に触れながら農山村のライフスタイルを1ヵ月間体験しました。

平成29年度三島町生活工芸アカデミー本格開講に向け、興味のある方、もっと詳しく知りたい方は、三島町ホームページ（<http://www.town.mishima.fukushima.jp/>）をご覧ください。地域政策課（☎0241-48-5533）までご連絡ください。



スポーツ吹矢教室を終えて 交流会への参加

4月よりスポーツ吹矢教室を月1～2回（10月まで）開催してきました。講師であるNPO法人会津美里クラブ衆の前田く江先生にご指導いただき、昼夜2部制で練習を行い、10月24日には公民館主催の認定会を開催しました。また、11月8日、4町村の競技者を集めた交流会（団体戦）に町から4名参加し、その内2名が団体部門で1位（五十嵐純子さん）・2位（角田信子さん）と好成績を残しました。五十嵐さんは個人部門（女性）でも1位に輝き、これまでの練習の成果が発揮された大会となりました。



▲写真中央：菅家壽一さん（間方）

お菓子くれないと イタズラしちゃうぞ！

三島保育所の子どもたちによるハロウィンパレードは10月31日に行われました。子どもたちはハロウィンにちなんだ手作りの衣装を着て、宮下町内の商店などの店先で「トリックオアトリート！（お菓子をくれないと、いたずらしちゃうぞ）」と元気よくかけ声をかけました。地区の方々はかわいく変装した子どもたちに笑顔でお菓子を手渡しました。



ふれあい野球教室 ～みんなで野球をしよう～

ヒートブロー（町野球クラブ）主催のふれあい野球教室は、11月6日町民運動場を会場に開催され、小・中学生12名、父兄も一緒に参加しました。ヒートブローより6名の選手が講師となり、野球の基本であるキャッチボール、ベースランニング、ノック、ティーバッティングなどを行い楽しい時間を過ごしました。

ヒートブローのメンバーは、「今後も野球を好きになり、チームの一員として野球と一緒にできるような育成に力を入れていきたい」と意気込みを見せました。



年末年始に向け火災予防 街頭広報と高齢者宅防火診断

毎年、春・秋の火災予防運動期間に合わせて、高齢者世帯を対象として、防火防犯診断を11月7日に実施しました。

会津坂下消防署三島出張所・会津坂下警察署三島駐在所・消防団・民生児童委員の皆さんが、高齢者宅を訪問し、暖房器具や屋外のホームタンクに異常がないか等を点検しました。また、同日に火災予防の一環として、県立宮下病院と道の駅みしま宿を訪れ、街頭広報を行いました。

これから年末年始に向け、火を取り扱うことが多くなりますので、火の元には十分注意しましょう。



秋の味覚祭～海と山の出会い～ スーパーランチ

11月15日に公民館主催の「秋の味覚祭」が行われました。今回のテーマは『海と山の出会い』。山際博美シェフ（(株)山際食彩工房）による海の食材と山の食材を掛け合わせた料理を三島小5年生が田んぼの学校で育てたお米と一緒に食べ、とても美味しいと多くの児童や生徒たちがおかわりをしていました。

食べ終わったあとは、三島中学生による合唱が披露され、山際シェフも楽しいひと時を過ごされたようでした。



町民記者通信

かしや猫ロード トレッキング大会

文・写真 菅家壽一さん(間方)

十月三十日、例年より遅い紅葉の中、落ち葉を踏みしめて、節目の第五回「かしや猫ロードトレッキング大会」が行われました。町長はじめ約五十名の方々が参加してくださり、天候にも恵まれたことから、楽しいトレッキングとなりました。

志津倉山登山口において開会セレモニーを行った後、四班に分かれ地区の案内人により、巨木三兄弟のサワグルミ、トチ、ブナと雨乞い岩等の説明をしながらゆつくりと歩きました。巨木からのパワーと森林からの癒しをいただき、大辺山の秋のひとりで、リフレッシュしました。

昼は集会所において、地区のお母さんたちが作ったおにぎり、ザクザク煮、漬物、イワナ等の料理とかしや猫伝説と高姫の悲恋物語の紙芝居を楽しんでいただきました。

トレッキングコースは、地区の活性化に繋げようと、県のサポート事業と町の地区支援事業の支援を受けて設置したもので、管理は地区

で行っています。この大会は、観光協会のご協力により、毎年紅葉の季節に実施しています。



銀山街道ロングトレイル「美女峠」

文・写真 菅家壽一さん(間方)

十一月五日に、会津若松から始まった銀山街道ロングトレイルが、六日には、そのルートの一部である間方から中向までの美女峠のトレッキングが行われました。

只見川沿いの道路や鉄道が整備される前は、美女峠を含む銀山街道が主要道路でした。県では、この銀山街道を「歩く県道」として、数年前からボランティア道普請により整備して地域の活性化に繋げようとしています。

地区の活性化事業の「美女峠の里まがた」では、ボ

念撮影をし、また来年の再開を約束しました。



秋蕎麦収穫作業 (会津のかおり)

文・写真 佐々木邦雄さん(松原)

松原地区農事生産組合(代表 阿部通利氏)により、一連の耕起作業をはじめ、八月十一日の種蒔き作業までを行いました。

また、蕎麦の刈取作業は、十月二十四日及び二十五日の二日間、晴天の中行われ、今年も台風や長雨による被害等もなく、順調に生育し、昨年同様身の膨らみ具合も大変良く付いておりました。

その後の工程として、乾燥作業をし、十一月十三日の最終作業の石抜きと袋詰作業を実施しました。

本年も、結果としては、良い出来栄で終了出来そうです。来春、地区の組合員の皆さまにいい報告が出来るよう役員一同楽しみに

ランテア道普請に参加したり、高姫伝説の紙芝居をつくり上演したり、峠道の散策の案内をする等、歴史と伝説のある美女峠を活かした村おこしに取り組んでいます。

当日は、天候に恵まれ紅葉が真っ盛りの街道を参加者十五名が、お話ししながらゆつくりと歩きました。ある参加者は、赤ちゃんの頃、宮下で汽車を降り、母に背負われて、野尻まで行ったことを、亡き母から聞かされたと言っていました。

夜は、しらかば荘において参加者に「高姫伝説」の紙芝居を上演しました。

間方側の峠道は、緩やかな勾配で、道幅が広いことから、老若男女を問わず、おしゃべりしながら、並んで歩けることが魅力です。是非、お出下さい。



ております。

住民の憩いの場「ふるさとセンター」の冬囲い

文・写真 本名与四郎さん(西方)



十一月十九日の午前九時よりふるさとセンターの冬囲いとガードレールの撤去作業が行われました。冬囲いが始まる頃より冷たい雨が降る中での作業となりました。ふるさとセンター分館長の飯塚秀市さんを中心に、地区役員の皆さんと地域おこし協力隊の岩本大輔さんも参加して午前中に冬囲い作業とガードレールの撤去作業を終了することができました。

単管パイプをクランプと呼ばれる接合部品を使って組立作業を行いました。が、斜めになったり、単管パイプが定位置でなかったりと四苦八苦する場面もありましたが、和やかな雰囲気の中

ぎる菊鑑賞会&バーベキュー親睦会

文・写真 五十嵐公男さん(名人)

曇り空で時折日が差す「名入ざる菊園(諏訪ノ上)」で十一月六日に「名入ざる菊の郷プロジェクト実行委員会」(代表 五十嵐公男氏)主催による、ざる菊鑑賞会&バーベキュー親睦会が、会員・有志十六名参加のもと行われました。ほとんどの方が、数本のざる菊は見たことがあるが、ざる菊の群生している様を近くで観るのは、「名入ざる菊園」が初めてとの事でした。一本の株に、数千個の花を付けると言われるざる菊に囲まれている記念撮影後、バーベキューによる親睦会に移りましたが、午前中「地区の冬人足」が行われた為に、出来上がるのが早く、にわかざる菊講師が何人も現れて楽しい一時を過ごしました。

【お知らせ】

十月十八日に、オレンジ・ピンク色が咲き始め、次に黄・赤色が続き、寄稿時現在白・紫色が満開を迎えました。

今年度は「名入ざる菊園」のご紹介は出来ませんでした。が、来年度はもっと詳しくご紹介出来ると思います。

また、来年度、区画拡張を予定しております。それに

伴い、地区内外問わず「会員募集」しております。ボランティア意欲旺盛な方のご入会を、実行委員会一同心よりお待ちしております。



冬囲い清掃作業

文・写真 佐々木邦雄さん(松原)

十一月六日、松原春日神社境内の冬囲いと周辺町道の清掃を地区恒例の人足作業により実施しました。

早朝六時より、悪天候の薄暗い中での作業に三十五名もの大勢の方に参加して頂き、鳥居と灯籠の冬囲いと、境内及び周辺町道の落ち葉の清掃を行いました。少子高齢化が進んでいる地区であり、高齢者中心の作業ではありましたが、慣れた皆さんのおかげで手際よく効率的に、一時間以内で終了することが出来ました。

来年四月の取外しまで、半

束しお開きにしました。



冬に向かって

文・写真 小島純さん(宮下)

十一月二十三日、宮下地区では、地区委員町づくり応援隊や地区住民の協力を得て、宮下活性化センター冬囲い作業に汗を流しました。同時に、来年一月の『サイの神』用の杉葉集めにも向かい保管作業も行いました。これで雪対策・サイの神の準備も万全。気持ちよく新年会を開催できます。



年近い長く厳しい冬を迎えますが、本格的な春の暖かな日差しが、一日でも早く訪れることを参加された皆さんが願っているようでした。



早戸地区で伝統の虫供養

文・写真 五十嵐信一さん(早戸)

十一月十日、虫供養塔から最も遠い場所から、居平地区の佐久間弥一さんが、鐘を叩きながら歩き始め、生活改善センター前から、三島小学校三年生と四年生の十七名が加わり、一緒に歩き始めました。

過去には大雨の日もありましたが、一度もこの行事を休んだことはありません。脈々とこの地区に受け継がれてきました。

虫供養塔では、参加者が一人ひとり神妙な面持ちで、駆除された虫の魂に祈りを捧げました。

最後に、参加者全員で記

地域おこし協力隊に聞いてみた！

第4回目 おやまだ むつみ
小山田 睦美さん (むっちゃん)

たかはし なおき
高橋 直生さん (なおきくん)

地域おこし協力隊のみなさんが普段どのようなお仕事をしているのかなどをご紹介しますコーナー！第4回目となる今回は農業支援を担当している小山田睦美さんと高橋直生さんにお話を伺ってきました！（記事内：敬称略）

農業支援担当

小山田 睦美さん

高橋 直生さん

どのようなお仕事を担当されていますか？



▲ 農業支援担当の地域おこし協力隊 写真左：小山田さん 写真右：高橋さん

小山田 & 高橋：桐の里産業（株）に出向して農業に従事しています。一年を通しての野菜の栽培やお米づくり、草刈りなどの作業を行っている他、最近ではミニライスセンターの管理・運営のお仕事もあります。また秋口からはキノコの栽培も行っており、栽培したヒラタケは「福島県きのご品評会」にて福島県県知事賞を受賞しました！

農業を志したきっかけは？→小山田さん

小山田：小学生の頃、テレビで日本の食料自給率が非常に低いことを知りました。父が農家をやっていたこともあって、国内でそこまで食糧が作られていない、という実感がなかったため衝撃を受けました。そこから農業に興味を持ち、農家さんのお手伝いをしたいと思うようになりました。



農業を志したきっかけは？→高橋さん

高橋：幼稚園で田植え体験をやる機会があり、そのときに田植えを教えに来てくれていたおじいちゃんが小さかった自分にはとてもカッコ良く見えて、いつかは自分もこういう人になりたい！と思い農業を志しました。



地区ならではの農作物を知る・育てる

小山田 & 高橋：大石田ではじゃがいもが豊富に収穫されるなど、三島町には地区によって特色があることを聞きました。来年はそのような地区の魅力を知らない人には知ってもらう機会を作り出し、実際に各地区で特色とされている農作物を育てることで、各地区のアピールや延いては三島町全体のアピールになればいいな、と考えています。



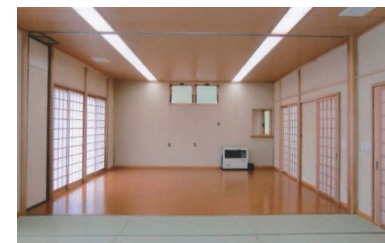
▲ 稲刈りの様子。お米作りの他に、野菜やキノコの栽培にも励む。

新築 浅岐集会所

11月に完成。



木造平屋建 建築面積 159.1㎡ 延床面積 127.11㎡



和室（15帖）と洋室（18帖）



調理室

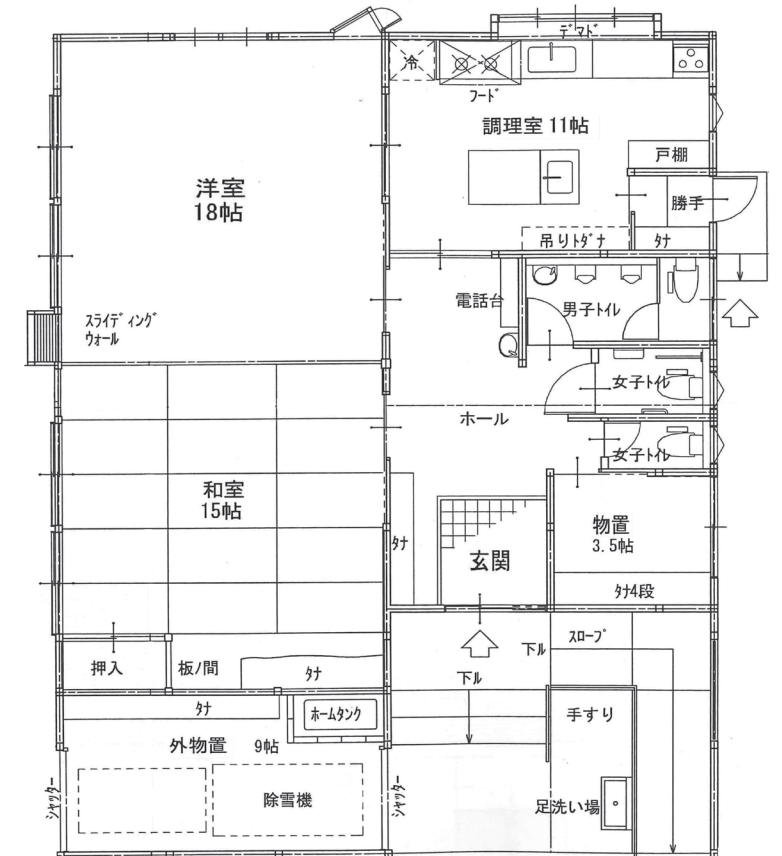


玄関



昭和50年に建築された旧浅岐集会所（元児童館）

平面図



浅岐地区は、現在まで元の浅岐児童館を集会所として利用してきましたが、耐震性や老朽化の観点より、今年度事業として新築工事に着手し、11月に完成を迎えました。今後は、地区づくり活動をはじめ各種会合はもちろんのこと、万一の災害時避難場所として、浅岐地区の皆様にご活用いただきます。



足袋作り百年の老舗「こはせ屋」は、従業員二十名の零細企業。社長の宮沢は銀行から融資を引き出すのに苦心する日々を送っている。

そんなある日、ふとしたことから足袋製造のノウハウを生かしたランニングシューズの製造を思いつく。大手メーカーの妨害がある中、この難局を乗り切ることができるのか。

【図書の紹介】

題名	著者
こころの匙加減	高橋 幸枝
見てる、知ってる、考えてる	中島 芭旺
へんしんトンネル	あきやま ただし
終わった人	内館 牧子
魔法のコンパス	西野 亮廣

※左記の雑誌を毎月購読しています。
ひよこクラブ・たまごクラブ・山と溪谷・オレンジページ・壮快・Number

- 利用時間
月～土 午前9時～午後9時
日・祝日 午前9時～午後5時
- お休み
年末年始

公民館 ☎(48) 5599

民話



第 68 話

観音様の御利益

塔寺の立ち木観音堂に下がっている「鰐口」には、珍しい伝説があんのなつし。

昔、大沼郡西方村名人（今は三島町）さ五十嵐吉兵衛つう方がおらったど。たいそう信心深い方であつたが、殊に立ち木観音様には信仰厚くお参りしてらつただど。

ある年、お伊勢参りさ行ぐごどになつて、参宮中の安全祈願はもちろん留守中の家族の無事も、念入りに拜んで出立しらつたど。

さて、お伊勢様の内宮外宮の参拝もすませで、更に四国の金毘羅様さもお参りしんべと、桑名の渡しから船に乗つた。

しばらく船さ揺られたが「ほーっ」と船が動かなくなつたど。

「なんだ、なんだ」「何事だっ」つて皆おろだえでだら、船頭が、
「これは皆さん方の中で、ワニに見込まれた方がいる」「つうだど。

「だんじや、だんじや」の大騒ぎ。さらに船頭は、「その誰かを知るためには、皆さんの身につけているもの、つまり手ぬぐい等をかしてけれ」つうだど。

お客、全部がら品々を受け取つて、水中さ投げこんだど。皆々、目の色変えで、波間さ浮かぶ品物を見でだわいなあ。

したらば吉兵衛の手ぬぐいがスルスル、スルスルー水中さ沈んでつただど。さあ、大変だあ。

「皆さんを助けると思つて、お気の毒だが身投げしでくんつえ」

船頭さんには言われんべし、お客さんだれは、「我々を助けてくんつえ」つては言われんべし・・吉兵衛は、

「ちよ、ちよつと待つてくんつえ。船頭さん、まあ一遍船動かしてくんつえ」頼んだ。時がたつど皆々いらいらして、
「早く、水さ入れ——っ」「んだ、んだ」いらだつてんのも解る。

吉兵衛は、船縁さ立つて目をつむつと、一心に立ち木観音様のお姿を思つて拜んだだど。

「南無観世音菩薩！南無観世音菩薩！」したらば、不思議や不思議く船はスルスルーと動きだしたどお。

「おおー、良かったゝ動いたあゝ」

九死に一生の吉兵衛はじめ、皆さま方も胸なでおろして金毘羅様を参詣して、帰りには江戸見物までしてもどらつたそうだ。

旅の話をしながら吉兵衛は、ただただ立ち木観音様の御利益と深く感激して、あの鰐口を奉納しやつただど。

あの時、納められた鰐口は、今の今にも残っている、つう事だない。

立ち木観音様のご利益 おしまい

元話 会津の伝説より
再話 五十嵐 七重さん（西方）

町史編さん室だより

第 11 回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、
交流センター山びこまで一報ください。
☎(52) 2165

奥会津全体を巻き込んだ大騒動が発生

御蔵入惣百姓十三ヶ条御訴訟

享保五（一七二〇）年晩秋、御蔵入御料（現在の奥会津）各地の百姓八百人余りが田島陣屋を取り囲み、今までお金で納めた年貢が今年から米納になった理由をただしましたが埒が明きませんでした。

享保六年二月、百姓総代十五人が、年貢率の引き下げ・小穀割・餅米等雑税の廃止・江戸廻米の廃止・米納年貢の廃止・郷頭制度の廃止など、暮らしを阻害する様々な原因を十三ヶ条に纏めた訴願状を持参し江戸幕府に直訴しました。しかし勘定奉行所では將軍の仰せ付けと称し、廻米・雑税・米納など幕政に関する六ヶ条を取り下げ、七ヶ条のみとし、百姓対郷頭の出入り（争い）として訴状を受理、詮議（取り調べ）を開始されました。

同時に江戸と田島に多くの村名主や百姓が呼び出され、幕藩官僚による激しい詮議が行われ、享保七年七月二日には首謀者界村名主兵左衛門、小栗山村百姓喜四郎等六人が死罪獄門となりました。百姓総代十五人に加わった檜原村順次右衛門は獄中死、名人村初右衛門は田畑が半分に、家財は残らず没収となり、大谷村四郎兵衛は御構い無しとの判決を受け一件落着となりました。

今回紹介する文書は百姓訴状の初ヶ条で、当地の立地条件を的確に書き表した名文として後世に伝わっています。

恐れ乍ら口上書を以つて願上げ奉る御訴訟

山田八郎兵衛様代官所会津御料所百姓代

一会津御料所の儀は、山郷にて地方狭く高より人数多く、その上秋は九月より雪降り、春は四月まで雪消え申さず、田畑の稼ぎ半年程働き、半年は薪ばかり取り、金子にもまかりならず、田畑すべて一毛作にて取穀御座無く、年により雪霜に逢い、一二年に一度は諸作実り兼ね申し候、これにより当御料百姓共困窮仕り、渡世漸く相続け仕りまかりあり候御事
一（以下十二ヶ条あり略）

享保六年丑二月十五日

会津御料所百姓代檜原村

順次右衛門

外十四人略

文・読み下し 角田 伊一

社会福祉協議会より

ご寄附
ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

板 橋 泰二郎 様(滝 原)
五十嵐 利 勝 様(大石田)
目 黒 政 寿 様(宮 下)

地域ふれあいサロン

サロンないり

12月6日㊥ 午前10時から
名入公民館

ひまわりサロン

12月15日㊥ 午前10時から
町民センター

心配ごと相談(人権相談)

12月8日㊥ 福寿草
午前 9時30分から
午前11時30分まで

☎社会福祉協議会 ☎(52) 3344

12月の納税

納期限 12月26日

- ▶固定資産税(第3期)
- ▶国民健康保険税(第5期)
- ▶介護保険料(普通徴収)(第5期)
- ▶後期高齢者保険料(普通徴収)(第5期)

忘れずに納付ください。
役場 町民課

町の人口と世帯

11月1日現在

人口	1,728	増減数	-5	出生	0
男	837	-1	死亡	2	
女	891	-4	転入	3	
世帯	787	+1	転出	6	

④住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

ご寄附
ありがとうございました

町への寄附(ふるさと納税)

角田 新作 様(神奈川県横浜市)

今年度より、ふるさと納税に対する返礼品の制度を導入し、また特別町民の皆様からの年会費もふるさと納税として取り扱わせていただいております。多数の皆様からのご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

県立宮下病院より

◆ 診療日記 ◆



県立宮下病院内科医長 五十嵐 亮

～ 冬は脳梗塞、心筋梗塞が多い! ～

「今朝は、かんじんなぁ～」こんな朝は要注意!!脳梗塞や心筋梗塞は朝に多いと言われています。さらに冬は血圧が上昇しやすくなります。この理由は、寒いところに行くと手足が冷たくなるように、末梢の血管が収縮すること、また食事の塩分量が増えることが原因です。冬は元来、保存食としてしょっぱいものが多くなりますので、改めて食生活を見直してみましょう。そして、気温の寒暖差が大きいと血圧が変動するため、入浴の際は浴室や脱衣室は暖めておき、温度差がないように心がけましょう。

徐々に冬の訪れを感じる季節になってきました。今年は「クサムシ(カメムシ)」が多く、ここ奥会津も豪雪となるのでしょうか。みなさま身体をご自愛の上、長い冬を乗り越えましょう。

☎福島県立宮下病院☎0241-52-2321

国民年金の第1号被保険者の
皆さまへ

国民年金基金制度のご案内

●国民年金基金は、自営業の方やその家族、自由業、学生などの国民年金の第1号被保険者の方々がゆとりある老後を過ごせるよう、国民年金に上乘せる公的な年金制度です。

●加入できる方は、国民年金に加入している20歳以上60歳未満の方および60歳以上65歳未満の国民年金に任意加入している方です。

●65歳から生涯受け取ることができる終身年金が基本ですので、長い老後に備えることができます。

●掛金は全額が社会保険料控除、所得税と住民税が軽減されます。受け取る年金も公的年金等控除の対象になりますので、税制面で優遇されます。

●万が一早期に亡くなったとき、家族に遺族一時金が支払われます。(一部の年金タイプを除く)遺族一時金は全額非課税です。

●加入した時に確定した掛金額と年金額は変わりません。(口数を変更しない場合、60歳までお支払いの場合)

●ライフプランに合わせて、年金額や受取期間を設計できます。

■国民年金基金についてのお問合せ
福島県国民年金基金
フリーダイヤル ローゴ ヨイ ク ニ
0120(65)4192
〒960-8043
福島市中町1番19号
中町ビル5F
<http://www.fnfp.or.jp/>

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯
(10月1日現在)

1件

還付金詐欺にご注意!

▼ATMに行って欲しいはサギ!

自治体職員を名乗る者からの不審電話が発生しています。手口は、医療費や医療保険料の還付金があると言って、ATMに誘導しお金を振り込ませようとするものです。ATMから還付金が戻ってくることはありません。

▼警察官を名乗る不審電話発生!

手口は、自動音声で「警察からの電話です。9番を押してください」と電話や、警察官を名乗る者から、「通帳が届いている、口座番号を教えてください」などと電話があるものです。警察では自動音声の電話は使用していません。

▼泥棒から家を守ろう!

会津坂下警察署管内で、忍び込みや車上狙いが発生しています。夜間に無施錠の玄関や勝手口から侵入されています。○在宅中でも鍵をかけましょう。○車も施錠し、車内の見えるところにバッグや貴重品は置かないようにしましょう。

街頭犯罪発生件数(10月現在)

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空き巣ねらい	5	
忍 び 込 み	5	
事務所荒らし		
出 店 荒 ら し	1	
自 動 車 盗	1	
オートバイ盗		
自 転 車 盗	13	
自販機ねらい		
車 上 ね ら い	9	
ひ っ た く り		
部 品 ね ら い		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	34	0
全 刑 法 犯	104	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、平成28年1月1日からの累計数となっています。

栗城隆彦氏(宮下)秋の叙勲受章



元東北電力会津若松支社只見川ダム管理所長を務めた栗城隆彦氏(宮下)が秋の叙勲にて、瑞宝単光章を受章され、記念にと町へ多額のご寄附をいただきました。

◀ご寄附された栗城隆彦さんと妻の和代さん

桐陽祭で募った義援金を寄附



▲義援金を手渡す生徒会長の坂内遥人くん(三島中3年)

安全安心な街づくり 三島町消防団に感謝状



▲感謝状を手にする三島町消防団二瓶団長(間方)と矢澤町長

三島町消防団は、多年にわたり、地域安全活動を推進し、安全で安心な街づくりに貢献するとともに積極的に警察活動に協力された功績により、公益社団法人福島県防犯協会連合会長と福島県警察本部長から感謝状を授与されました。

平成 28 年度福島県きのこ品評会 桐の里産業株式会社のひらたけ 福島県知事賞受賞



▲ひらたけハウスの様子

東日本大震災、東京電力福島第1原子力発電所事故後、第2回目となる「福島県きのこ品評会」が行われ、『なめこ・ひらたけの部』で桐の里産業株式会社のひらたけが福島県知事賞に選ばれました。

平成28年度は気温の高い日が9月後半まで続き、露地・施設栽培を問わず、菌床の高温障害やほだ木の乾燥、害虫対策など難しい栽培管理が求められたなか、色、形状がよく肉厚なものが多く見られたことから、今後も品質維持に努めてほしいと審査報告がありました。

この品評会は、震災復興と県産きのこの振興を目的としています。



▲桐の里産業株式会社で大事に育てあげた肉厚なひらたけ



▲右から 代表取締役：矢澤源成町長
執行役員：岸本篤美さん（宮下）
指導者：海老名弘さん（桧原）

町長日記（年末雑観）

No. 17

只見川流域町村は、日本の復興を担うべく、エネルギー提供基地として、ダムや発電所工事等にかかる複雑な地域課題を抱えながらも協力してきた歴史があります。この事は我々のプライドであります。

三島町の高齢化率は約50%、金山町が約60%、昭和村が約55%と福島県で一番から3番の高齢化率の高い地域が、只見川流域町村であります。高齢者が多い町とは、幸せの町でもあります。人間の幸せは、長生きする事であります。その為に医学の進歩は勿論ですが、文明全体の進歩を図って来たのはご承知の通りです。

一九六〇年代頃から「進歩」という内容や「幸福」「文明」の内容が問われて来ました。技術の進歩が人間を幸福に導いてくれるのかという疑いを多くの人が持つようになりました。経済の拡大が「人間を幸せな世界」に導いてくれるという「幻想？」は立ち止まって再考する時代であるような気がしています。

ネット社会が世界を支配し、ゼロコンマ単位で売買される株や為替という数字が飛び交い、生き残りをかけて熾烈な競争をする技術開発やソフト開発がグローバルに展開される社会が、人間社会を幸せにしてくれるのか、知識のない私にとって疑問に思っています。

62人の資産と36億人（世界の人口の50%）分の資産が同じであるという世界の現実を前にするとき、只見川流域の町村の発想をどのように絡めて、地方創生を成し遂げていくのか、大きな落差に驚きながらも、「自分の足下の泉を掘る」事に「三島プライド」を全面に出しながら、住民の皆さんと汗をかき、地域コミュニティを大事にして、頑張る以外にないと考えます。

山眠る季節ですが、何かと気忙しく感じられます。人間は忙しく生きる性を持っているようです。良いお年をお迎え下さい。

三島町長 矢澤 源成

■発行 三島町 ■編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎ 0241 (48) 5511

■ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp

■印刷 北日本印刷株式会社